

## 硬膜移植後Creutzfeldt-Jakob病における 頭部MRI拡散強調画像の検討

研究分担者: 金沢大学大学院 脳老化・神経病態学(脳神経内科学) 山田正仁

「診断基準の策定・改訂」、「診療ガイドラインの策定・改訂」に関する研究

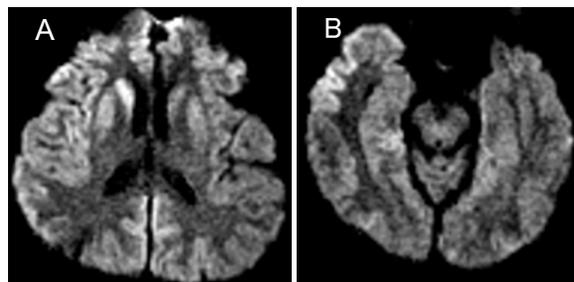
### ・非プラーク型硬膜移植後CJDのDWI画像

発症2ヶ月後(図A, B)

移植部位: 右前頭部

疾患: 頭部外傷

右側優位の両側前頭葉、右側頭葉、後頭葉、  
大脳基底核に高信号



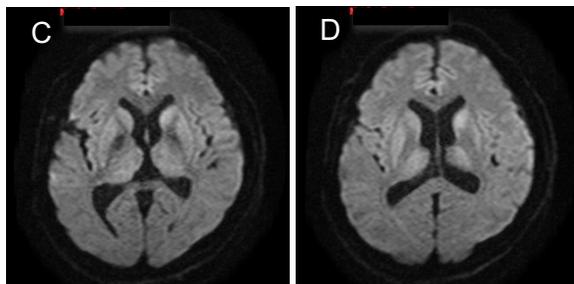
### ・プラーク型硬膜移植後CJDのDWI画像

症例1: 発症22ヶ月後(図C, D)

移植部位: 右前頭葉

疾患: 急性硬膜下血腫

両側大脳基底核と視床に局限した高信号



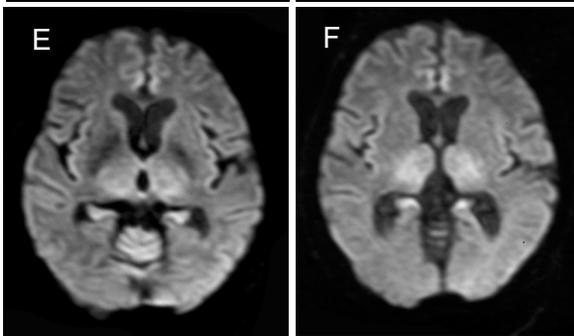
### ・プラーク型硬膜移植後CJDのDWI画像

症例2: 発症13ヶ月後(図E, F)

移植部位: 左後頭葉

疾患: 髄膜腫

両側の視床と前部帯状回に局限した高信号



## 解 説

1. 非プラーク型の硬膜移植後Creutzfeldt-Jakob病において、硬膜移植側優位で大脳皮質や基底核に拡散強調画像での高信号がみられる
2. プラーク型では拡散強調画像での高信号は視床や基底核に概ね局限する
3. 非プラーク型とプラーク型の異常信号のパターンは異なり、異常プリオン蛋白の性質(株)の差異に由来していると思われる